

2010-03-30(火)

## ■田舎育ちが今思うこと

田舎の山の中の一軒家で育った私は、周りの雑草や雑木は大嫌い。  
蛇や毛虫や蛾、春になると家の周りは竹の子がむせぶ。

ふもとの農家の人たちは竹の子取りにやってきましたが、  
梅雨時にはむんむん竹の匂いに頭痛を起こしていました。  
もちろん雑草は、手当たりしだいなんでもかんでも花も、  
むしりとり、ホントに山の中の一軒家は住みにくかった。

東京に出てきて、草の匂いに誘われて、皇居の周りを歩きながら  
手に触れる雑草を引き抜いていたら、とっもおこられました。  
えっ！雑草でしょ。都会じゃ雑草引き抜いちやいけないんだ。  
はじめて知った感覚でした。

そんな時代から、もうウン十年。子どもたちは東京生まれの東京育ち。  
日本はエネルギーも食べ物も海外に依存して豊かで便利な暮らしを手にしてる。  
私の育った山の棚田風の段々畑は消えてレンゲ畑は昔のこと。

弱った自然環境、弱った地球、自然と共生する暮らし、地域づくりってどうしたらいいのかな。  
今年は国連が定めた「国際生物多様性年」。  
10月には名古屋で生物多様性条約第10回締結国会議(COP10)が開かれる。。。

(野川かも)